

# 大久保東小 家庭学習の手引き

## 1 家庭学習の手引きについての考え方

小学校の学習は、将来子供たちが社会人として自立するための基礎となる大切なものです。

学校でも学習内容が定着するように日々努力していますが、家庭学習を通して家庭との連携を図ることで、より確かなものになるのではないかと考えます。そこで、家庭学習の手引きを作成することにしました。

保護者の皆様におかれましては、趣旨を御理解いただき、御協力賜りますようお願い致します。

## 2 家庭学習を通して、育てたい子供の姿

- 生活時間を有効に使うことができる子供  
(勉強や読書, 手伝いに使う時間が, テレビやゲームに費やす時間より多い子供)
- 家庭学習の習慣や方法を身につけた子供
- 基礎的・基本的な学習内容を身につけた子供

## 3 基礎的・基本的な学習内容とは

主として学校で学習する内容(教科書に記載されている内容)です。

特に、次のような技能は、各学年間でつながりをもっていますので、それぞれの学年で確実に身に付けておくことが望ましいと言えます。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>○ 教科書に出ているような文章をすらすら読むこと</li><li>○ 教科書に出てくる漢字を読んだり書いたりすること</li><li>○ 教科書に出ているような算数の問題を解くこと</li></ul> |
|--|

## 4 家庭学習習慣づけのために

### (1) 習慣化のためのポイント

- ① 学習する時間を決めて、毎日同じ時間に。
- ② テレビを消して集中力アップ!
- ③ 中学年以上の子供は、学習の後、「答え合わせ(自分で)」まで。

◎おうちの方へ

☆家での声かけを大切に・・

- ・子供が学習していることに興味をもち、ぜひはげましてください。
- ・子供がたずねてきたら、ぜひできる範囲で答えてください。
- ・子供が頑張った成果(ノートやプリント等)に目を通して、ぜひ努力を認めてください。

☆「答え合わせ」をする意味って何でしょうか？

子供たちにとって答え合わせは、「正解・不正解」を確かめるだけの活動と思われがちですが、実際は、学習内容の理解に関わる重要なものと言えます。「不正解」だった問題については、「どこが違っているのか」「どうして違ってしまったのか」をていねいに探ることにより、『自分の理解度』を把握し、『弱いところの補強（再考する・練習をする）』をすることによって『確かな定着』へとつながっていきます。

このプロセスを忠実に実行できれば、『間違えることが、より確実に覚えることにつながる』と言えます。

## (2) 学年の発達段階による家庭学習に向かう姿

低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の宿題ができる。</li> <li>・宿題以外にも、少しずつ自主的な学習ができる。</li> <li>・少しずつ自分で答え合わせができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の宿題が確実にできる</li> <li>・宿題以外にも、自主的な学習に取り組むことができる。</li> <li>・自分で答え合わせができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に家庭学習に取り組むことができる。</li> <li>・どんなことに取り組むかを考え、必要感のある学習ができる。</li> <li>・自分で答え合わせができる。</li> </ul>

## (3) 家庭学習の時間のめやす

◎学年×10分(例えば6年生なら6×10=60分)

あくまでもめやすとして捉えてください。興味・関心のある内容、やりがいのある問題に取り組んでいる場合は、それ以上になることでしょう。また、休日や夏休みなどに自由に使うことのできる時間が確保できるのであれば、さらに30分～60分程度増やせると良いでしょう。

## (4) 家庭学習の内容(下記の内容は一例です。)

国語	算数	社会・理科・総合・生活
<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字練習</li> <li>・視写</li> <li>・言葉の意味調べ</li> <li>・日記</li> <li>・音読</li> <li>・テストの問題をもう一度解く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書やドリルの問題</li> <li>・計算練習</li> <li>・百マス計算</li> <li>・生活の中から問題を見つける</li> <li>・テストの問題をもう一度解く</li> <li>・市販の問題集の問題を解く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強したことに関係あることを資料などで調べる</li> <li>・授業で学習したことをもう一度ノートにまとめる</li> <li>・テストの問題をもう一度解く</li> </ul>

他にも……

- ・新聞や読み物の感想をまとめてみましょう。
- ・国語辞典、漢字辞典、その他の図鑑を身近に置いて調べてみましょう。
- ・日本地図、世界地図、地球儀を身近に置いて調べてみましょう。
- ・できる範囲で、新聞に目を通してみましょう。
- ・自然や生き物とふれあい、観察してみましょう。
- ・詩や歌の暗唱をしてみましょう。(百人一首などの暗唱もいいですね)

# 1 ねんせいのかていかくしゅうについて

いえのひとといっしょによみましょう。

## もくひょう

- いえにかえったら、すぐにしゅくだいをしましょう。
- まいにち10ぶんいじょうは、がんばってがくしゅうしましょう。やすみのひやなつやすみなどには、もうすこしがんばってみましょう。
- てれびをみないでやりましょう。

## かていかくしゅうのまえに・・・

- がっこうからのおてがみは、おうちのひとにわたしましたか。
- おべんきょうするばしょは、かたづいていますか。
- しせいやえんぴつのもちかたは、ただしいですか。

## こんないょうを こんなやりかたで やってみよう！！

がくしゅうないよう	やりかたのれい
①もじのれんしゅうをする。 (ひらがな、かたかな、かんじ)	・プリントやドリルのもんだいを よくよんでやりましょう。 ・おてほんの じのかたちをよくみて ていねいに こくかきます。「とめる」「はねる」「はらう」にきをつけて かきましよう。
②さんすうのもんだいをとく。	・プリントやドリルのもんだいを よくよんでやりましょう。
③おんどくをする。	・こくごでまなんているところをよむ。 ・よみたいところもすすんでよむ。

※ほかにも、あんぜんなところで、なわとびをするのもいいですね！

## かていかくしゅうのあとに・・・

- おうちのひとに みせましょう。
- じかんわりをたしかめて、あすのじゅんびをしましょう。(きょうかしよ・ノート)
- えんぴつは けずりましたか。けしごむは きれいですか。

## 2ねんせいのかてい学しゅうについて

いえの人といっしょに読みましょう。

### もくひょう

- いえにかえったら、すぐにしゅくだいをしましょう。
- 毎日20ぷんいじょうは、がんばって学しゅうしましょう。休みの日や夏休みなどには、もっとがんばってみましょう。
- テレビを見ないでやりましょう。

### かていかくしゅうの前に・・・

- 学校からのお手がみは、おうちの人にわたしましたか。
- おべんきょうするばしょは、かたづいていますか。
- しせいやえんぴつのもちかたは、正しいですか。

### こんなないようを こんなやり方で やってみよう！！

学しゅうないよう	やりかたのれい
①かん字のれんしゅうをする。	・プリントやかん字ドリル学習をします。 かん字を1ページ書きます。 ・読み方やおくりがなもたしかめましょう。 ていねいに書きましょう。
②さんすうのもんだいをとく。	・プリントやけいさんドリルの問題をときます。 ・やりおわったら、まちがえていないか見直しましょう。 ・ドリルは、できたら答え合わせをし、まちがえたら直しましょう。
③日記を書く。	・日にちを書いて、心にのこった出来事をくわしく書きましょう。
④音どくをする。	・こくごでまなんでいるところをよむ。 ・よみたいところもすすんでよむ。

※ほかにも、あんぜんなところで、なわとびをするのもいいですね！

### かていかくしゅうのあとに・・・

- おうちの人に みせましょう。
- じかんわりをたしかめて、あすのじゅんびをしましょう。(きょうかしょ・ノート)
- えんぴつは けずりましたか。けしごむは きれいですか。

# 3年生の家庭学習について

家の人といっしょに読みましょう。

## もくひょう

- 家に帰ったら、すぐに宿題をしましょう。
- 毎日30分以上は、がんばって学習しましょう。休みの日や夏休みなどには、もっとがんばってみましょう。
- 宿題以外でもできそうな学習にちょうせんしましょう。

## 家庭学習の前に・・・

- 学校からのお手紙は、家の人にわたしましたか。
- お勉強する場所は、かたづいていますか。
- しせいやえんぴつのもちかたは、正しいですか。

## こんな内容を こんなやり方で やってみよう！！

学習内容	やり方の例
①漢字の練習をする。	・漢字ドリルを見て、正確に、ていねいに1行ずつ、漢字練習をする。
②算数の問題をとく。	・プリント、計算ドリルをやってみる。 ・教科書の練習問題・かだめしなどをノートに書いてやってみる。
③社会・理科など、授業での要点を整理する。	・教科書の中で、大切なところをノートに写したりまとめたりする。
④音読をする。	・国語で学んでいるところを読む。 ・読みたいところもすすんで読む。

※ほかにも、安ぜんなところで、なわとびをするのもいいですね！

- ・算数は、習った問題についてはやったままにせず、自分で答え合わせをしましょう。まちがえたところは、かならず直しましょう。
- ・漢字の答え合わせは、はじめのうちは、お家の人に協力してもらいますが、だんだん自分で答え合わせができるようにしましょう。

## 家庭学習の後に・・・

- 時間割を確かめて明日の準備をしましょう。(教科書・ノート)
- えんぴつは けずりましたか。消しゴムは きれいですか。

# 4年生の家庭学習について

家の人といっしょに読みましょう。

## 目 標

- 全員が毎日家庭学習をする習慣を身につけましょう。
- 毎日40分以上は、がんばって学習しましょう。休みの日や夏休みなどには、もっとがんばってみましょう。
- 自主的な学習にも取り組みましょう。

## 家庭学習の前に・・・

- テレビやゲームのスイッチは消しましたか。
- 勉強する場所はきれいですか。
- 正しい姿勢になっていますか。

## こんな内容を こんなやり方で やってみよう！！

学習内容	やり方の例
①漢字の練習をする。	・漢字ドリルを見て、正確に、ていねいに1行ずつ、漢字練習をする。 ・新出の漢字や苦手な漢字を熟語で練習する。
②算数の計算問題・文章問題・図形の問題をとく。	・プリント、計算ドリルをやってみる。 ・教科書の練習問題・かだめしなどをノートに書いてやってみる。
③社会・理科などで、要点をまとめてみる。	・教科書の中で、大切なところをノートに写したりまとめたりする。
④音読をする。	・国語で学んでいるところを読む。 ・読みたいところも進んで読む。

※ほかにも、安全なところで、なわとびをするのもいいですね！

- ・算数は、習った問題についてはやったままにせず、自分で答え合わせをしましょう。まちがえたところは、かならず直しましょう。
- ・漢字の答え合わせは、はじめのうちは、お家の人に協力してもらいますが、だんだん自分で答え合わせができるようにしましょう。

## 家庭学習の後に・・・

- 時間割を確かめて明日の準備をしましょう。(教科書・ノート)
- えんぴつは けずりましたか。消しゴムは きれいですか。

# 5年生の家庭学習について

家の人といっしょに読みましょう。

## 目 標

- 毎日50分以上は、がんばって学習しましょう。休みの日や夏休みなどには、もっとがんばってみましょう。
- 学習習慣を確実に身につけましょう。
- 自分に合った自主的な学習にも取り組みましょう。

## 家庭学習の前に・・・

- テレビやゲームのスイッチは消しましたか。
- 勉強する場所はきれいですか。
- 正しい姿勢になっていますか。

## こんな内容を こんなやり方で やってみよう！！

学習内容	やり方の例
①漢字の練習をする。	・漢字ドリルを見て、正確に、ていねいに1行ずつ、漢字練習をする。
②算数の計算問題・文章問題・図形の問題をとく。	・プリント、計算ドリルをやってみる。 ・教科書の練習問題・かだめしなどをノートに書いてやってみる。
③社会・理科などで、授業での要点を整理する。	・教科書の中で、大切なところをノートに写したりまとめたりする。
④その日の復習に挑戦する。	・その日、学習した教科書の内容を、もう一度ノートに書いてやってみる。
⑤音読をする。	・国語で学んでいるところを読む。 ・読みたいところも進んで読む。

※他にも、安全なところで、なわとびをするのもいいですね！

- ・漢字や算数は、習った問題についてはやったままにせず、自分で答え合わせをしましょう。まちがえたところは、かならず直しましょう。

## 家庭学習の後に・・・

- しっかり学習できたか振り返ってみよう。(時間・内容・姿勢)
- 時間割を確かめて明日の準備をしましょう。(教科書・ノート)
- えんぴつは けずりましたか。消しゴムは きれいですか。

# 6年生の家庭学習について

家の人といっしょに読みましょう。

## 目 標

- 毎日60分以上は、がんばって学習しましょう。休みの日や夏休みなどには、もっとがんばってみましょう。
- 集中して学習しましょう。
- 自主的な学習にも取り組みましょう。

## 家庭学習の前に・・・

- テレビやゲームのスイッチは消しましたか。
- 勉強する場所はきれいですか。
- 正しい姿勢になっていますか。

## こんな内容を こんなやり方で やってみよう！！

学習内容	やり方の例
①漢字の練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字ドリルを見て、正確に、ていねいに1行ずつ、漢字練習をする</li> <li>・新出の漢字や苦手な漢字を熟語で練習する。</li> <li>・色々な熟語を使って新出漢字を練習する。</li> </ul>
②算数の計算問題・文章問題・図形の問題をとく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント、計算ドリルを解いてみる。</li> <li>・教科書の練習問題・かだめしなどをノートに書いてやってみる。</li> <li>・自分の苦手なところを授業で考えた方法を使って解いてみる。</li> </ul>
③社会・理科などで、授業での要点を整理する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の中で、大切なところをノートに写したりまとめたりする。</li> </ul>
④その日の復習に挑戦をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その日、学習した教科書の内容を、もう一度ノートに書いてやってみる。</li> </ul>
⑤家にある問題集の問題を解く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドリルとやり方は同じ。答え合わせが大切。</li> <li>・難しい問題に取り組んでみる。分からない問題があった場合は、次の日に先生に聞く。</li> </ul>
⑥音読をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語で学んでいるところを読む。</li> <li>・読みたいところも進んで読む。</li> </ul>

※他にも、安全なところで、縄跳びをするのもいいですね！

- ・自分に必要な学習を考えて、めあてをもって取り組んでみましょう。
- ・漢字や算数は、習った問題についてはやったままにせず、自分で答え合わせをしましょう。まちがえたところは、かならず直しましょう。

## 家庭学習の後に・・・

- しっかり学習できたか振り返ってみよう。(時間・内容・姿勢)
- 時間割を確かめて明日の準備をしましょう。(教科書・ノート)
- えんぴつは けずりましたか。消しゴムは きれいですか。